

Pioneer



RS-P99X

UNIVERSAL DIGITAL PREAMP
OPTICAL DIGITAL REFERENCE SYSTEM

carrozzeria*X*

オプティカル デジタル リファレンス システム
ユニバーサル デジタル プリアンプ

RS-P99X

取扱説明書

このたびはカロツェリア X シリーズ
ODR システムをお買い上げいただき
まことにありがとうございます。

ご使用になる前に、この説明書を必ずお読みください。
お読みになった後は、後日お役に立つこともありますので
保証書と一緒に大切に保管してください。

安全のために必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書、「オーディオ調整」説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

- 表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。



必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

安全上のご注意 (別冊の「安全上のご注意」もお読みください。)



警告

[異常時の処置]

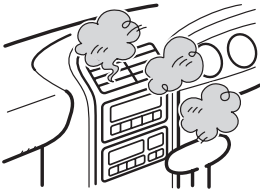
故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのまま使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのまま使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



必ず行う

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

本機「RS-P99X」の主な機能

ユニバーサルデジタルプリアンプ「RS-P99X」は RCA 入力のアナログアンプを ODR システム[★]に接続するためのクロスオーバーネットワーク・イコライザー内蔵のデジタルプリアンプです。

- ◆ L/R 独立／共通 31 バンドグラフィックイコライザー (1/3 オクターブ間隔)
- ◆ L/R 独立／共通 3 バンドパラメトリックイコライザー (1/3 オクターブ間隔)
* Q セレクト
- ◆ L/R 独立／共通 4 ウェイデジタルネットワーク
* -72dB/oct スロープ
* タイムアライメント
- ◆ パラメトリックバス／トレブルコントロール
- ◆ リスニングポジションセレクター
- ◆ デジタルコンプレッション
- ◆ 8 チャンネル RCA 出力

★ 本機「RS-P99X」の各機能の調整のしかたについては、「オーディオ調整」説明書をご覧ください。

音量は控えめに

- ◆ 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご利用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると危険です。

★ODR

Optical Digital Reference(オプティカルデジタルリファレンス)の略。光デジタルに関係する製品またはシステム。

目次

- ご使用になる前にお読みください … 7
 - 本書のマークについて … 7
 - 保証書は受け取りましたか? … 8
- 安全のために … 8
- リセットボタンについて … 9
- RCA 入力アンプとのシステム構成 … 10
- 接続・取り付けを行う前にお読みください … 12
 - 作業の流れ … 12
 - 作業が終わったら … 13
- 接続のしかた … 14
 - 接続上のご注意 … 14
 - 接続のポイント … 14
 - コネクタの脱着のしかた … 14
 - 接続図 … 15
 - 電源端子の接続 … 16
 - RCA 入力アンプの接続 … 17
- 取り付けかた … 18
 - 取り付け上のご注意 … 18
 - 取り付けのポイント … 18
 - 取り付け … 19
 - 端子カバーの取り付け … 19
 - バッジの向きの変更 … 19
- 故障かな?と思ったら … 20
 - チェック表 … 20
- 保証書とアフターサービス … 21
- 仕様 … 22

ご使用になる前にお読みください

本書のマークについて

本書の中には次のマークが使用されています。

危険防止のために絶対に行わないでください

使いかたを誤ると危険をおよぼす可能性のある事項が記載されています。

より詳しい情報を知るために

機能や仕様上の制限、操作上の注意点、本機「RS-P99X」を使いこなすためのテクニックが記載されています。

保証書は受け取りましたか？

- ◆ 保証書にお買い上げの販売店名、住所、ご購入年月日が記入されていない場合は、保証期間中であっても保証が無効となります。保証書は記入もれがないことをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。
- ◆ 保証書を紛失した場合は保証期間中であっても保証が無効となりますので、大切に保管してください。

安全のために



感電事故を防止するために

- ◆ 濡れた手では本機を触らないでください。感電する恐れがあります。また、本機が濡れているときも触らないでください。



音量は控えめに

- ◆ 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご利用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。



安全にご使用いただくために

- ◆ ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量（アンペア数）のヒューズをご使用ください。規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。（バッテリーパワーコードのと本体のヒューズは 4A です。）
- ◆ 本機およびスピーカーの故障を防止するため、本機に異常が発生すると、保護回路が働き本機が OFF になります（音が出なくなります）。このようなときはシステムの電源を切り、電源およびスピーカーの配線をチェックし、保護回路が働いた原因を解決してください。
- ◆ ヒューズが切れた原因や保護回路が働いた原因がわからないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。



接続・取り付けに関するご注意

- ◆ 接続／取付の作業前は、必ずバッテリーの⊖端子を外してください。ショート事故による感電やケガの原因となります。
- ◆ 車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類／タンク／電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないように注意して行ってください。火災の原因となります。
- ◆ 感電事故を防止するため、濡れやすい所には本機を取り付けしないでください。

リセットボタンについて

リセットを押す前のご注意

- ◆ 本機「RS-P99X」が誤動作した場合でも、むやみにリセットボタンを押さないでください。リセットボタンを押すと、ネットワークやイコライザーなどのオーディオ設定が全てリセットされてしまいます。リセットボタンを押す前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- ◆ 本機「RS-P99X」のリセットボタンを押したときは、接続している全ての製品のリセットボタンも押してください。

■リセットのしかた

システムの変更を行った場合などに、リセットボタンを押してください。
また、ご購入後初めて本機「RS-P99X」に電源を入れるときや、本機に内蔵のマイコンが誤動作した場合も同様に、リセットボタンを押してください。

- ★ リセットボタンは本機「RS-P99X」に電源を接続してから押してください。電源が接続されていないときは、リセットボタンを押してもリセットされることがあります。
- ★ 付属の六角レンチは保管しておいてください。

1 付属の六角レンチ（小）でリセットボタンを押します



リセットボタン

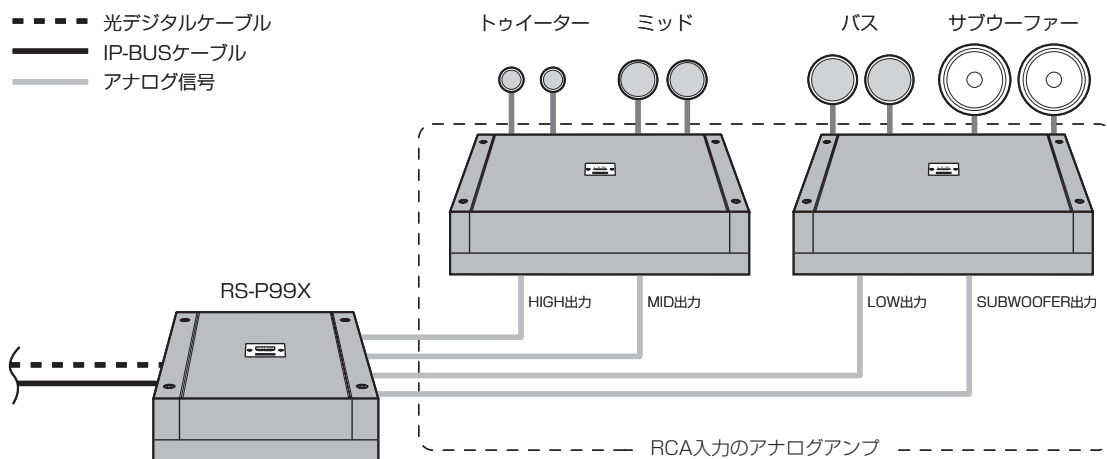
RCA 入力アンプとのシステム構成

■よりよい音質のために一構成上の制約事項ー

フルレンジスピーカーを使用するときは

- ◆ スピーカーをフルレンジで使用するときは、LOW 出力にアンプを接続して、本機「RS-P99X」のフィルター特性を調整してください。
- ★ LOW 出力の再生周波数帯域は、フィルター特性の遮断周波数の調整によって、25Hz から 10kHz まで変化させることができます。また、スロープ（フィルター特性の減衰の傾き）調整によって、フィルターをPAS(パス)に設定することができますので、スピーカーをフルレンジで使用することが可能になります。
- ★ フィルター特性の調整のしかたについては、「オーディオ調整」説明書の「ネットワークメニュー」の項をご覧ください。

■システム構成例



- ◆ RCA 入力アンプを使用して、サブウーファーをモノラルブリッジで接続を行った場合は、ネットワークメニューのタイムアライメント調整やメインメニューのバランス調整を行っても、サブウーファーからは左右チャンネルの調整値がほぼ平均されて出力されます。
- ★ 左チャンネル / 右チャンネル独立モードにしている場合、イコライザー調整、ネットワークのフィルター調整、タイムアライメント調整については、左右のチャンネルに同じ調整値を入力してください。
- ★ 左チャンネル / 右チャンネル共通モードにしている場合、ネットワークのタイムアライメント調整については、左右のチャンネルに同じ調整値を入力してください。



別売製品の接続および取り付けについては、別売製品に付属の説明書も合わせてご覧ください。



接続・取り付けを行う前にお読みください

作業の流れ

接続・取り付けの作業は次の手順で行ってください。

- 1 バッテリーの(－)側端子を外します
- 2 仮接続を行います
[14～18ページ参照]
- 3 バッテリーの(－)側端子を接続します
- 4 リセットボタンを押します
[9ページ参照]
- 5 動作およびノイズの確認を行います
- 6 バッテリーの(－)側端子を外します
- 7 本接続と取付を行います
[14～19ページ参照]
- 8 バッテリーの(－)側端子を接続します
- 9 動作を確認します

作業が終わったら

■新規にシステム全体の接続・取り付けを行ったときは

ODR システムコントロールチューナー / CD「RS-D7X Ⅲ」の説明書に記載されている“作業が終わったら”の項にしたがって、本機「RS-P99X」およびシステムの動作を確認してください。

■システムアップで本機を追加接続したり、システムの変更でモード設定スイッチを切り換えたときは

1 バッテリーを接続します

接続・取り付けに誤りがないかもう一度確認し、取り外した車の部品を元通り取り付けてから、バッテリーの(－)側ターミナルにケーブルの端子を接続します。

2 リセットボタンを押します

9 ページの“リセットボタンについて”の項を参照して、本機「RS-P99X」のリセットボタンを押してください。

3 車のイグニッションスイッチを ON または ACC の位置にします

4 動作を確認します

本機「RS-P99X」およびシステムが正常に動作することを確認してください。動作しない場合は 20 ページの“故障かな?と思ったら”の項をお読みになり、接続に誤りがないかもう一度チェックしてください。

◆動作確認を長時間行くと、車のバッテリーがあがってしまうことがありますので注意してください。

接続のしかた

接続上のご注意

- ◆ 本システムの接続には、別売の光デジタルケーブル「例：CD-AD601X」および IP-BUS ケーブル「例：CD-IP600」が必要です。詳しくは販売店にご相談ください。
- ◆ 透明 / 黒リード線（アース）は、パワーアンプなどの消費電流が大きい製品のアースとは別々に取り付けてください。まとめて取り付けると、ネジが緩んだり外れたりしたとき、製品の発煙・故障の原因となる恐れがあります。

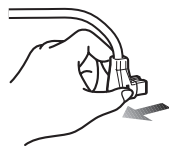
接続のポイント

ノイズ防止のために

- ◆ 本機「RS-P99X」の透明 / 赤リード線（+ バッテリー電源用）は、IP-BUS ケーブルおよびスピーカーコードから、できるだけ離して取り付け、配置してください。また、透明 / 赤リード線、IP-BUS ケーブル、スピーカーコード、および本機「RS-P99X」は、アンテナ、アンテナコード、および FM/AM や TV などのチューナーからできるだけ離して取り付け、配置してください。
- ◆ IP-BUS ケーブルおよび光デジタルケーブルの接続について
- ◆ IP-BUS ケーブルおよび光デジタルケーブルのコネクターは接続に間違いがないように、入力側が青、出力側が黒に色分けされています。同じ色どうしを接続してください。（IP-BUS ケーブルは、コネクターの接続部分が色分けされていません。）

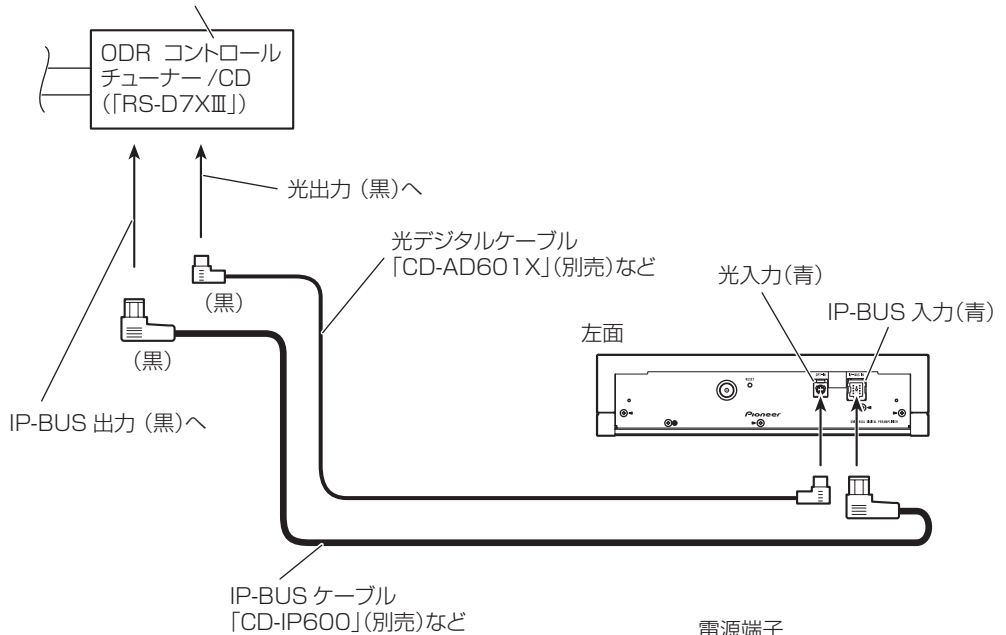
コネクターの脱着のしかた

- ◆ 各コネクターを外すときは、コネクター部分を持って引っ張ってください。コードを引っ張るとコードが抜けてしまうことがあります。
- ◆ コネクターは、“カチッ”と音がするまで押し込んで、確実に接続してください。



接続図

詳しくは、ODR システムコントロール チューナー / CD (「RS-D7XⅢ」)の取付説明書をご覧ください。



システムリモートコントロール

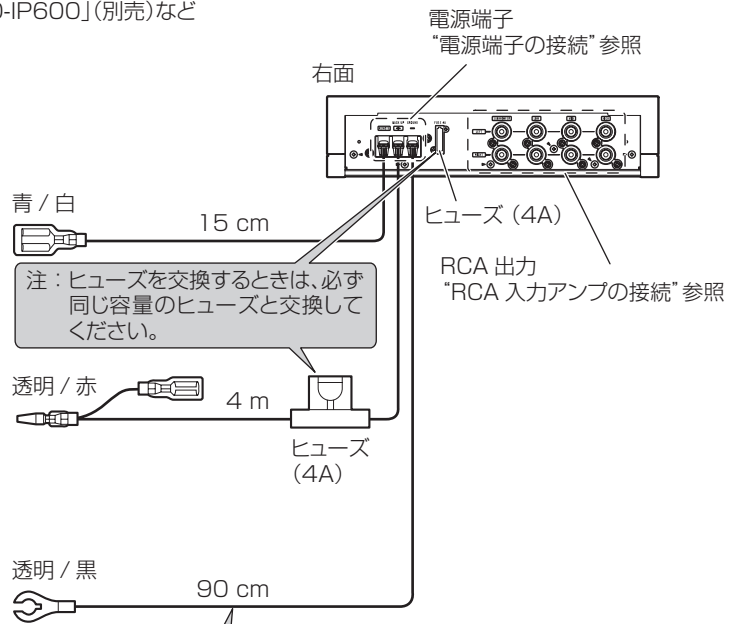
RCA 入力タイプのパワーアンプと組み合わせるときに、パワーアンプの青 / 白 (または青) リード線 (システムリモートコントロール用) に接続します。(12V DC.300mA 以内でご使用ください。)

+バッテリー電源

イグニッションスイッチの ON/OFF に関係なく、車のヒューズユニットを通した後の常時電源が供給される電源端子に接続してください。接続を誤ったり、忘れると動作しません。

アース

車のボディの金属部に確実に接続してください。



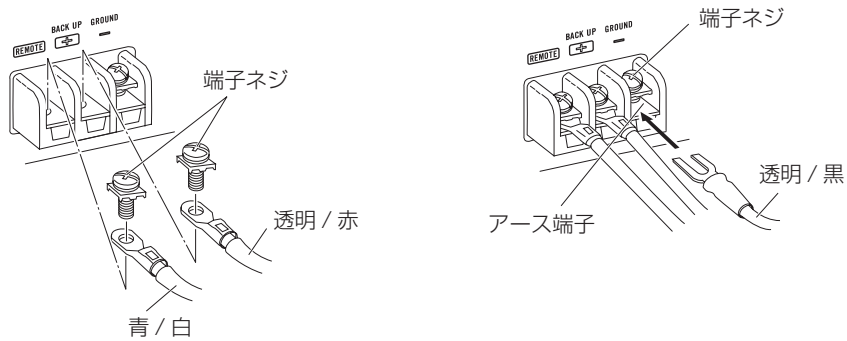
電源リード線の、ヒューズから本体の間に、他の機器のリード線を接続しないでください。

注：製品の発煙・故障を防ぐために、透明 / 黒 リード線を必ずいちばん初めに接続してください。

電源端子の接続

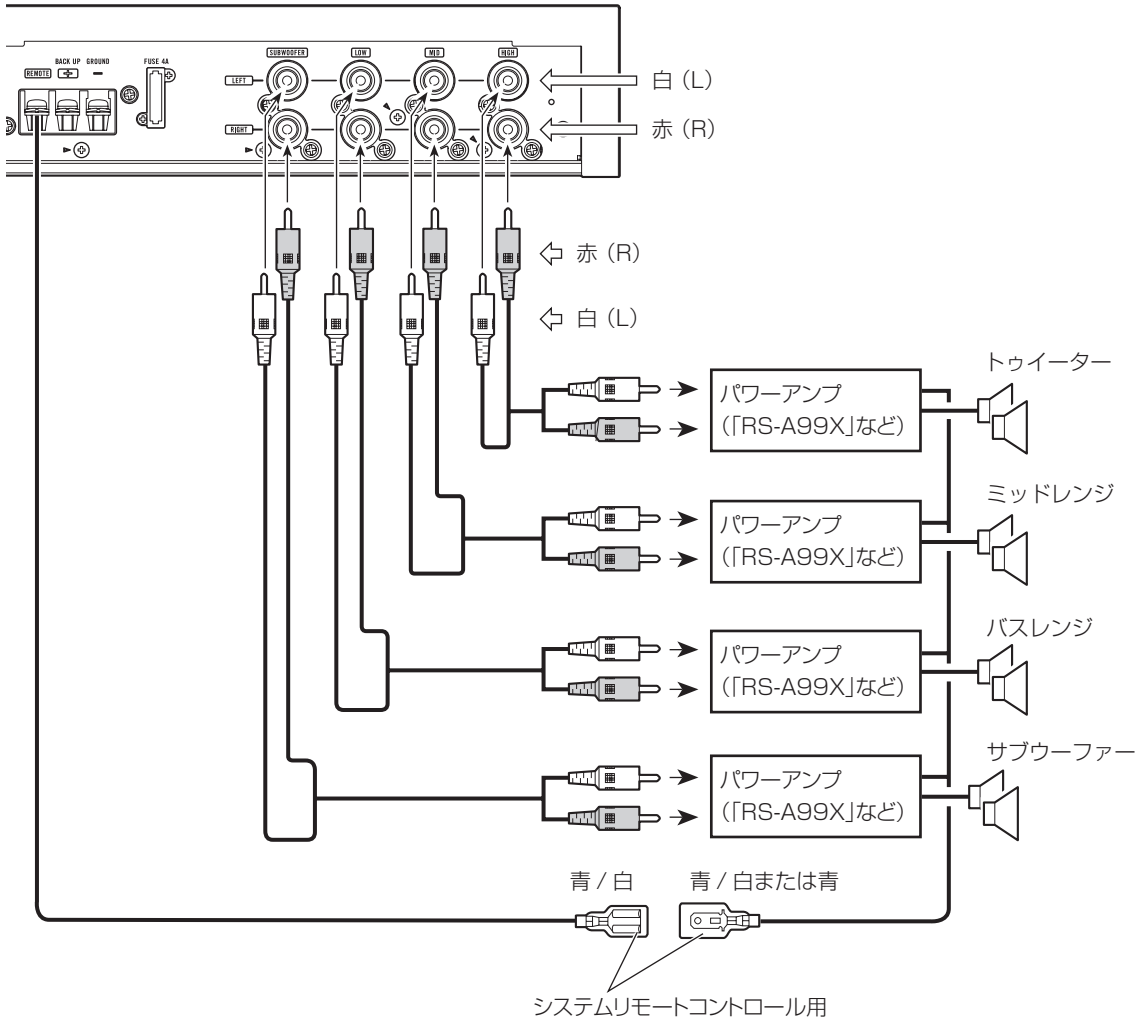
1 各リード線を接続します

- ◆ リード線は端子ネジでしっかりと固定してください。



RCA 入力アンプの接続

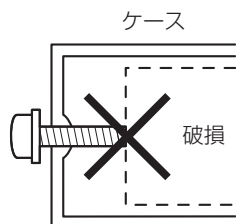
接続するスピーカーの使用目的に合わせて RCA 入力タイプのパワーアンプを接続してください。



取り付けかた

取り付け上のご注意

- ◆ 必ず本機および取り付けキットに付属の部品を指定通り使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに外れたりして危険です。



- ◆ 次のような場所には、絶対に取り付けないでください。高温により故障する恐れがあります。
 - * カーペットやリアシートの下など、密閉された場所。
 - * ヒーターの吹き出し口の近く。

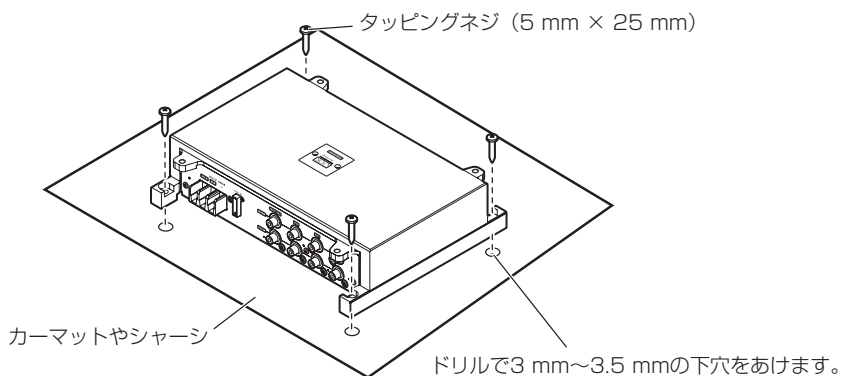
取り付けのポイント

取り付け、固定する前に

- ◆ まず仮接続を行い、本機およびシステムが正常に動作することを確認しましょう。動作しない場合は 20 ページの“故障かな？と思ったら”の項をお読みになり、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。
- ◆ 取り付けした状態でスペアタイヤ、ジャッキ、工具などが取り出せることを確認してください。

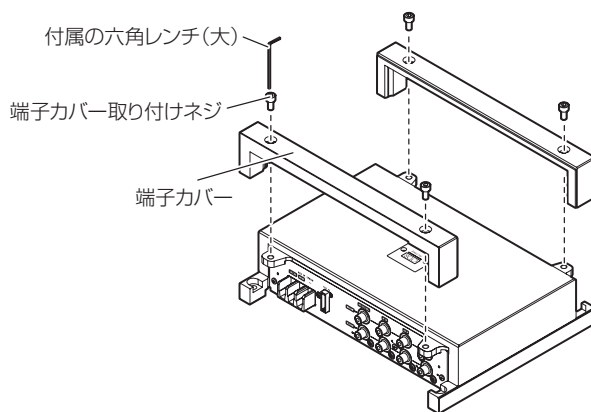
取り付け

1 本機「RS-P99X」を取り付けます



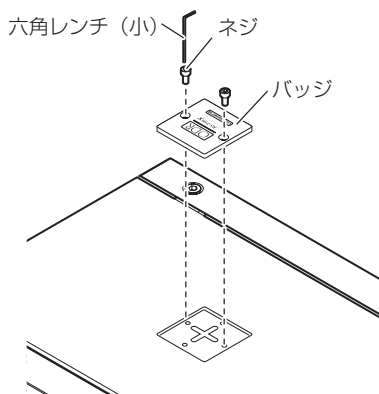
端子カバーの取り付け

◆ ショート防止のため、端子カバーを取り付けます。



バッジの向きの変更

◆ 取付・取外するとき、ネジを紛失しないように注意してください。



故障かな？と思ったら

ちょっとした接続や設定のミスで故障と間違えることがあります。故障かな？と思ったら、次のことを行ってください。

- 1 “チェック表” にしたがって、接続や設定をもう一度確認してください
- 2 接続や設定にミスがなかった場合は、リセットボタンを押してください
9 ページの“リセットボタンについて” を参照してリセットボタンを押してください。
- 3 リセットボタンを押しても直らないときは…
“保証書とアフターサービス” の項をお読みになり、修理を依頼してください。
分解したり、注油することはやめてください。

チェック表

症 状	原 因	処 置	参照 ページ
動作しない (音が出ない)	車のバッテリーが接続されていない	車のバッテリーを接続してください。	—
	透明/赤リード線(+バッテリー電源用)の接続が不完全	全ての常時供給電源用リード線を、車のヒューズユニットを通した後の常時電源が供給される電源端子に接続してください。	15~17
	透明/黒リード線(アース用)の接続が不完全	全てのアース用リード線を、車のボディの金属部に確実に接続してください。	
	青/白リード線(システムリモートコントロール用)の接続が不完全	本機「RS-P99X」の青 / 白リード線に、RCA入力タイプのパワーアンプの青リード線または青 / 白リード線を接続してください。	
音が不自然	各コネクターの接続が不完全	ヒューズが切れた原因を解決し、切れたものと同じ容量のヒューズと交換してください。	15
		確実に接続してください。	14~17

保証書とアフターサービス

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。
保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より 1 年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くの修理受付センター（沖縄のみ 沖縄サービス認定店）にご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くの修理受付センター（沖縄のみ 沖縄サービス認定店）にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低 6 年間保有しています。（性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

仕様

DSP/ プリアンプ部

トーンコントロール (パラメトリック)
(バス周波数).....
63Hz、100Hz、160Hz、250Hz
(トレブル周波数).....
4kHz、6.3kHz、10kHz、16kHz
(調整幅)..... ± 12dB

31 バンドグラフィックイコライザー (左右独立)
(周波数)..... 20Hz ~ 20kHz (1/3oct.)
(調整幅)..... ± 12dB (0.5dB)

3 バンドパラメトリックイコライザー (左右独立)
(周波数)..... 20Hz ~ 20kHz (1/3oct.)
(調整幅)..... ± 12dB (0.5dB)

クロスオーバーネットワーク (左右独立)
SUBWOOFER
HPF. 周波数..... 20Hz ~ 100Hz、1/3oct.
LPF. 周波数..... 40Hz ~ 250Hz、1/3oct.
調整幅..... + 10dB ~ - 24dB (0.5dB)

LOW
HPF. 周波数..... 25Hz ~ 250Hz、1/3oct.
LPF. 周波数..... 250Hz ~ 10kHz、1/3oct.
調整幅..... 0dB ~ - 24dB (0.5dB)

MID
HPF. 周波数..... 160Hz ~ 10kHz、1/3oct.
LPF. 周波数..... 2kHz ~ 20kHz、1/3oct.
調整幅..... 0dB ~ - 24dB (0.5dB)

HIGH
HPF. 周波数..... 1.6kHz ~ 20kHz、1/3oct.
LPF. 周波数..... 8kHz ~ 20kHz、1/3oct.
調整幅..... 0dB ~ - 24dB (0.5dB)
スロープ..... PASS、- 6dB/oct.
- 12dB/oct.、- 18dB/oct.
- 24dB/oct.、- 36dB/oct.
- 48dB/oct.、- 72dB/oct.
(PASS : HIGH の HPF には無し)

位相切換..... ノーマル / リバース
タイムアライメント
H/M/Lch..... 0cm ~ 192.5cm (0.77cm)
SWch..... 0cm ~ 385cm (1.54cm)

ポジションアジャストメント
距離..... 0cm ~ 192.5cm (0.77cm)
調整幅..... 0dB ~ - 30dB (0.5dB)

サンプリング周波数..... 44.1kHz
デジタル入力..... 光入力
アナログ出力..... RCA (4系統)

共通部

使用電源..... DC14.4V
(10.8 ~ 15.1V 使用可能)
アース方式..... マイナスアース方式
消費電流..... 1A
ヒューズ..... 4A
外形寸法.....
258 (W) mm × 63 (H) mm × 202 (D) mm
質量..... 4.0kg

RCA 出力部

周波数特性..... 10Hz ~ 20kHz
(- 1dB、+ 0dB)
最大出力 / インピーダンス..... 10.0V / 100 Ω
高調波歪率..... 0.0015% (1kHz、20kLPF)
S/N..... 115dB (IHF-A ネットワーク)
セパレーション..... 103dB
(100Hz ~ 10kHz、20kLPF)

付属品

取付キット..... 1式
電源ケーブル..... 1式
六角レンチ (大)..... 1
六角レンチ (小)..... 1
取扱説明書..... 1
「オーディオ調整」説明書..... 1
ご相談窓口・修理窓口のご案内..... 1
保証書..... 1

★上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。





この説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

<各窓口へのお問い合わせ時のご注意>

「0120」で始まる フリーコールおよび フリーコールは、携帯電話・PHSなどからは、ご使用になれません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

ご相談窓口のご案内

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口 ● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーコール）

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00 土曜 9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■ カーオーディオ／カーナビゲーション商品

電話 **0120-944-111** 【一般電話】 **044-572-8101**

ファックス **044-572-8103**

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/>

※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

修理窓口のご案内

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の「故障かな?と思ったら」を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、① 型名、② ご購入日、③ 故障症状を具体的にご連絡ください。

修理についてのご相談窓口 ● お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合

修理受付窓口（沖縄県を除く全国）

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00 土曜 9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

コーバイオニア

電話 **0120-5-81028** 【一般電話】 **044-572-8100**

ファックス **0120-5-81029**

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/repair.html>

※インターネットによる修理受付対象商品は、家庭用オーディオ／ビジュアル商品に限ります

沖縄サービス認定店（沖縄県のみ）

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話 【一般電話】 **098-987-1120**

ファックス **098-987-1121**

部品のご購入についてのご相談窓口 ● 部品（付属品・リモコン・取扱説明書など）のご購入について

部品受注センター

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00 土曜 9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話 **0120-5-81095** 【一般電話】 **0538-43-1161**

ファックス **0120-5-81096**

パイオニア株式会社

〒212-0031

神奈川県川崎市幸区新小倉1番1号

©パイオニア株式会社 2010

<KOKZF><10D00001><CRA4373-A>